



### 学校教育目標

- 広い心と公正な判断力のある、情操豊かな生徒を育成する。（徳育）
- 自ら求めて学び、豊かな知性を備え、創造性に富む生徒を育成する。（知育）
- 健康でたくましく、忍耐力に富む生徒を育成する。（体育）

## ○ ふるさとを盛り上げてほしい！

前回の学校だよりで、「心を燃やせ！」という言葉を紹介しました。そのような折、12日（月）に真城小校区青少年健全育成会の主催で、「鬼火焚き」が真城小運動場で実施されました。（下写真）



前日（11日）は、交通規制が行われるほどの雪が降り、開催が危ぶまれましたが、実行委員の皆様のご尽力のおかげで準備が整い、盛大に開催することができました。

真城中としても、「近年、子どもたちの地域行事への参加が少なくなっている。」という地域の方々からの声を受け、大会等がない場合は原則として部活動を中止、としました。まずは、子どもたちが、地域の行事等に参加しやすい環境を整えることが大切だと考えています。多くの地域の方々が一同に集まり、同じ火・炎を見ながら交流を深めることに大きな意義があります。たくさんの中学生も、鬼火焚きに足を運んでくれていました。将来、この行事を運営し、ふるさとの伝統を受け継いでほしいと、心から願っています。



鬼火焚き終了後は、焼き芋の提供が行われ、写真のような大行列ができていました。主催者の仲野さんも、この行列を見ながら、「芋は足りるかな。」とうれしい悲鳴をあげていました。鬼火で作った本物の焼き芋は、まさに「黄金色」で、子どもたちも美味しそうに食べていました。



また、体育館では、真城小6年生による「真城太鼓」の披露が行われました。体育館に響き渡る太鼓の音が心地よかったです。6年生の演奏が素晴らしく、それを聞いていた低学年の子どもたちが、6年生のリズムに合わせて一緒に太鼓をたたくしぐさをしていたのが印象的でした。低学年の子どもたちにとって、6年生の真城太鼓は「憧れ」の存在になっていました。これはまさに、「輝継」の姿だと感じました。

地域の伝統を一生懸命に受け継ごうとする方々と、たいへん有意義な時間を過ごすことができました。真城中学校としても、ふるさとの未来を見据えて、地域の行事に子どもたちが参加していこうとする前向きな気持ちを醸成していきたいと考えています。

なお、余談ですが、今週の18日（日）に、市PTA連合会のレクリエーション大会が行われますが、参加者の人数が一番多いのは真城中育友会です！！保護者の皆さまの意欲的な気持ちが、子どもたちにも伝わっているのだと思います。保護者の皆さまのご協力に感謝いたします。当日は、優勝目指して頑張りたいと思います！



☆ 「鬼火焚き」の様子です



点火の様子です。来年は、中学生も点火に参加してほしいと思います。



真城太鼓を見る最前列の子どもたち。太鼓に合わせて手を動かしながら、食い入るように見ていた姿が印象的でした。



鬼火焚きの火で、「焼き芋」を作ってくださった地域の方々です。笑顔で美味しい焼き芋を食べる傍らで、影のご努力があったことを、生徒たちにはしっかりと理解をしてほしいと思います。そして、いつかは、自分たちが地域を支え、子どもたちを笑顔にする役目を担ってほしいと思います。また、そのことを、子どもたちが**気付き、感じ取る**ために、その場に足を運んでほしいと願っています。



## ○ 今日の給食（1月13日）



13日（火）の給食は、**クリームシチュー、ハンバーグのケチャップソースかけ、ゆでキャベツ、パーカーパン**でした。冬の定番メニューですが、気温が低く寒かったので、温かいクリームシチューで、身体が温まりました。また、パーカーパンにハンバーグを挟むと、ソースが濃い目だったので、キャベツとよくなじんで美味しく食べることができました。定番メニューですが、逆に「なるほど〜！」と思わせる説得力を感じました。

今朝、ある生徒とあいさつ運動の際に話をしていると、定番のカップ焼きそばの味が濃くなった、という話題になりました。その中で、定番の商品も常に改良しているのでは？という結論になりました。長い間、多くの人に愛されている商品も、よりおいしくなる工夫をしているからこそ、ロングセラーになるのだと思います。もしかすると、このクリームシチューや、ハンバーグがいつもおいしいと感じるのも、多くの方々の絶え間ない工夫のおかげなのだと思います。

**運氣上昇の左馬で  
す！校長室にあった  
ものです。午年なの  
で、ご紹介します。**

